

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 央福社会	代表者	上田 幸生	法人・事業所の 特徴	法人理念である「やさしい気配り 親思う 慈しみの心」を基本に、利用者一人一人が自分のペースで過ごせるよう、利用者の声を大切にし、主体的に過ごせるよう対応している。利用者の変化にも、すぐ気づき対応できるようスタッフ間の連携を図り情報交換・共有に努めている。 また、当ホームは、法人の理事長が元々住んでいた場所でもあり、名前も屋号からである。そういった部分を活かしながら、地域の行事にも積極的に参加している。また、ホーム内にて地域つどい事業を開催し、地域住民との交流を図り、地域に根付いていけるよう取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホーム かめやん家	管理者	中川 佑治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	引き続き、職員間での情報共有に努めていく。新規利用者に対しても、利用前からスムーズにサービスに入れるよう配慮や複数での面談をし、様々な視点から情報収集していきたい。利用にあたり、ひとりひとりの利用者の生活スタイルに合わせた支援ができるよう過去の過ごし方や生活歴を情報収集し取り組んでいきたい。	ケアマネジャーのモニタリングの内容は全スタッフで回覧したり、ミーティング等でも話し合うことができている。日々の様子や利用者の声も極力、記録に残しケースにて共有している。今年度、新規の方は受け入れが少なかったため評価はしにくいですが、ケアマネジャーと管理者が複数回、面談や情報収集する機会を設けている。まだまだ完璧ではないが、利用者の生活スタイルにあわせた支援ができるよう努めている。	高いレベルで安定しておられると思いますが、職員の方からさらに良くしようという意識を感じます。常に利用者がおられる中で、スタッフ間での細かい情報共有は困難な中、意識を高めるために工夫をしているのが分かりました。情報共有が難しく課題となっているようですが、それぞれが意識して取り組んでいるように感じる。利用者の生活歴を大切にしているし、利用者や家族だけでなく、親しかった人や好みまで知っておられるように感じる。忙しいとは思いますが、今までと同様に様々な研修や集まりに参加していただけたらと思います。	上記の意見にあったが、9つのテーマは決まっており重複する点はありませんが、1番は日々のケアや支援での気づき、本人や家族、地域との会話から情報収集をし、スタッフ間で共有することに力を入れていきたい。そうする事で、利用者や家族の変化に早急に対応し、地域資源やホームのサービスを柔軟に組み入れ、長く安心して在宅生活が送れるようにこれからも取り組んでいきたい。外部研修や地域行事へも、管理者や一部のスタッフだけでなく様々なスタッフが参加できるように機会を作っていきたい。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	引き続き、清潔を意識し入りやすい雰囲気や居心地の良い環境づくりに努めていきたい。時間帯によっては、スタッフは忙しく、来客対応が不十分になってしまうこともあるが、スタッフ間の声かけや連携を図り、スムーズに対応できるようにしていく。また、虐待や身体拘束、不適切ケアについて学ぶ機会を多くし、これらが利用者の心身へ影響が大きく関わる事を理解しケアにも活かしていく。	スタッフ間で指摘しあい清潔には意識をしている。来客対応もスタッフ間で声かけや連携をし、スムーズにできている。玄関も施錠して入らず入りやすい雰囲気や環境にはなっていると思う。虐待や身体拘束、不適切ケアについても、随時、研修会を実施し学ぶ機会や話し合いし、ケアにも活かしている。	いつも清掃が行き届いている印象が強いです。環境は一番難しいと思いますが、限られた中での対応ですが、外からホームに入ると、たまに独特のにおいがする事があります。サービスご利用中の方も笑顔の方も多く、良い環境や居心地のよい場所になっていると思う。季節を感じる物作りや行事も工夫している。来客対応は、職員の方が良く気づいてくださるので、待たされていると感じた事は無い。玄関も民家のような雰囲気であり、ご利用者も入りやすく、地域の方にも良く知られており良い環境かと思えます。	時折独特な臭いがするとのことですが、スタッフ間では常に清潔を意識していたため、特に気になっていなかったのが現状です。不快な臭いにつながらないように、再度、清潔を意識し、利用者にとって居心地の良い環境作りに努めていきたい。また、送迎後に玄関前に車が止まりっぱなしになっており入りにくい事もあるのではと、話し合いの中で意見があり、送迎後は車を車庫にお返し、また、自転車の止め方にも気をつけ、すべての方が入りやすいようにしていきます。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>引き続き、つどい事業や職場体験の取り組みを継続していく。そうする事で福祉の仕事の魅力を発信し、また、かめやん家をもっと知ってもらう機会とする。スタッフはつどい以外でも、地域の方との交流やおあいすることもあるので、挨拶はもちろんの事、事業所が地域の一員や地域資源の一部になるよう、日常的な交流をしていきたい。その中で、地域の方の変化があれば、地域包括支援センターの方と協力し支援につなげていきたい。</p>	<p>つどい事業はコロナウィルスの影響で中止する事はあったが、基本、継続できている。地域の方の楽しみや居場所にもつながっている部分はある。職場体験は小学校の都合で今年度はなかった。地域の方とも日常的に交流はできている。</p>	<p>地域の行事にもできる限り参加され、利用者の方が外出する機会を考慮してもらえる。地域の方に認知されていると感じ、地域行事への参加だけでなく、地域での防災にも取り組んでおられ、なくてはならない資源だと感じている。かめやん家のつどいを開催し、講座や物作り等、地域の方々と交流を深め、関わりの中で、困った時には相談しやすく頼れる場所になっているのではないかと思います。年末防犯や町会の役などに参加され、認知度もあがっている。社協や連合の催しにも参加されているので、大変良いと感じる。</p>	<p>引き続き、少しでもかめやん家が地域の方の居場所や地域資源としての役割を担えるように相談しやすい場所になるように、つどい事業を継続し、地域行事にも積極的に参加していきたい。意見にもありましたが、子供とのふれあいの行事やイベントについては、町会に子供が少なく、子供会がないことから、難しい面がありますが、引き続き保育園との交流会や、小学校、中学校とも連携し地域の子供達との交流を増やすべく行事にも参加していきます。昨年はニーズがなかったが、中学校からのニーズがあれば職業体験も受け入れをしていきたい。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>現在は、かめやん家がある地域行事の参加や交流しかできていないが、南巽や田島の方等も利用者がおられる為、利用者の希望や必要性に応じて、かかわりや連携ができるよう準備していきたい。事業所が地域資源として地域の方々に必要とされる事業所になるよう、利用者以外の心配な方々がいれば、地域包括支援センターと連携し協力していきたい。</p>	<p>かめやん家がある地域以外（巽南）でも利用者の地域行事の参加により、スタッフも地域の方と顔見知りになり連携もできてきている。他の地域の方も利用者を通じて必要に応じて連携を図っていけるよう準備はしていく。</p>	<p>季節ごとの花見や初詣、連合町会の行事等にも参加している。地域の百歳体操に参加できるよう送迎等でお世話になり、地域の方々と一緒に支援をして頂き、地域の方と連携をとっているのもとても安心です。スタッフから地域の方との心温まる支援の様子を聞くのもとても嬉しく思う。地域の行事に参加しておられ、引き続き継続していただければと思う。地域包括支援センターと協力しながら対応されていますが、まだまだ地域の方に根付いているとは思いませんのでもっと情報提供が必要だと思っています。ロコミは徐々に浸透していると思います。</p>	<p>各利用者がその地域に住んでいるという事を意識し、各地域と連携を少しでも多く取れるようにしていきたい。今回は巽南においても利用者を通じて行事に参加する事で、スタッフもあいさつをしたり顔見知りになったりしてできるようになってきている。ホームがある巽中、今回の巽南だけでなく、各利用者を通じて、各地域とも必要に応じて連携を図っていきたい。利用者以外の心配な方にも地域包括支援センターと協力をし、ホームが地域資源としての役割を担えるよう、地域に根付いていけるよう、回覧板や営業活動、つどい等の行事を通じて情報発信していきたい。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議に管理者以外の職員が参加できるよう、地域の声を聴ける場になるようにしていきたい。地域からのボランティアの受け入れや防災等の様々な課題に対しての話し合いの場となるよう運営推進会議を活用し、意見を聴いたりしながらすすめていきたい。</p>	<p>シフトやスタッフの人数の兼ね合いもあり、管理者以外のスタッフの参加はほとんど出来ない。議事録や資料はスタッフ間で回覧している。地域からのボランティアもポイント事業を活用し受け入れている。</p>	<p>地域の町会長、連合町会長、民生委員等も参加し意見や行事予定など、幅広く話し合われている。会議の場で施設の話だけでなく、地域の行事等の話がされているのでとても活発に行われていると思う。施設の話だけでなく地域の話や昔のこの地域の話も出るので、とても参考になる。管理者以外の職員にも参加していただければと思う。民生委員の方が言われている地域へのチラシも試してみようか？</p>	<p>運営推進会議は地域の方の声や情報等を聴ける貴重な場である為、シフトの調整をし、可能な限り、ホーム長以外も参加する機会を作っていく。地域へのチラシは回覧板や新聞広告等を活用し、引き続き取り組んでいく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>防災マニュアルは作成しているが、色々な場面を想定した内容になるよう、都度、見直しをしていきたい。また非常時に地域住民に協力が得られるよう、ともに消防訓練を実施できるよう協力体制を築いていきたい。引き続き、防災リーダーとして地域の防災力向上に協力できるよう意見交換をしていく。現在、消防訓練や防災等の勉強会・マニュアルの見直し等を実施しているが、家族の方とどう連携や連絡をとっていくのか、ともに考える場を作っていく。</p>	<p>防災マニュアル以外にも災害時フローチャートも作成し、スタッフ間で初動の対応について確認している。地域の方とも消防訓練も一緒に実施したり協力してもらった。、家族との連携は、まだまだ課題は多く、話し合ったり共に考える場をつくれていないのが現状である。</p>	<p>防災や災害に対する認識はあると思うが、利用者の方をどこまで対応できるかは分かりません。連携が1番大事なので一つ一つできる事から潰して行く事だと思います。管理者が防災リーダーを努めておられ、とても熱心に取り組んでおられると思う。災害時に老人会等の頼りになると思う。また、AEDも設置されており非常時には助かる。防災・災害対策は地域の方々と協力し合って成り立つものです。町会の防災リーダーとして夜警や訓練に参加したり、ホームの避難訓練に地域の方々も協力していただいているという事なので、しっかり取り組んでおられると思います。</p>	<p>まだまだホーム内の防災対応にも課題は多くあるため、防災訓練や勉強会、スタッフ同士で話し合う時間を増やし、マニュアルやフローチャート、防災対応の見直しをしていきたい。避難訓練や防災訓練に地域の方や運営推進会議のメンバーにも参加や協力をしてもらい、現状の状況をしってもらう。またともに考える場を作り、地域の課題にも目を向け、連携を図れるようにしていきたい。また、災害が起こったら本人や家族とどう連携や連絡を取っていくのかも、個々に合わせて考える場を作っていく。</p>